

後援会ニュース

2025年8月号（部内資料）

発行 日本共産党かすみがうら市後援会

〒315-0053 かすみがうら市稲吉東4-5-18

TEL029(834)7366 FAX 029(834)7367

後援会員のみなさん。先の参院選挙 では大変お世話になりました

日本共産党は、比例代表選挙で「650万票、10%以上、5議席獲得」を目標にたたかいましたが、得票で286万4千票、得票率4・84%にとどまり、改選4議席から2議席への後退となりました。選挙区では、東京選挙区で吉良よし子さんが激戦を勝ち抜くことができましたが、埼玉、京都選挙区はあと一步議席に届きませんでした。大切な議席を失ったことは残念です。

選挙結果全体については、衆議院に続いて参議院でも自民党、公明党が過半数を割ったことは前向きの結果だと思います。その点で共産党としんぶん『赤旗』は論戦においても大きな役割を果たしたのではないのでしょうか。また、1人区での野党共闘を通じて、自公過半数割れに貢献できたと確信しています。

一方で、自民党の補完勢力や外国人敵視を売りにする排外主義・極右的潮流が議席を伸ばしたことは危険であり重大です。日本共産党は政治の歴史的岐路に当たり、補完勢力と排外主義・極右的潮流と正面から対決し、人権と民主

主義のために闘います。自民党政治に代わる、国民の命と暮らし、平和を保障する政治の展望を示し、その実現にいつそう努力します。

かすみがうら市の選挙結果は比例代表での得票784票、得票率4・38%、選挙区の高橋誠一郎氏の得票は924票、同率5・21%でした。自民党票が大きく減る一方で、その分参政党と国民民主党が得票を伸ばしています。

私は、7月2日までに街頭で消費税5%減税を主に党の政策を訴えましたが、大変反応が良かったと感じていました。しかし、結果的には訴えが足りなかったと悔やまれます。

茨城では引き続き9月7日投開票で県知事選が行われます。いま、西・兵庫県の斉藤知事、東・茨城県の大井川知事のバワハラ・付度政治が横行し、県政の在り方が問われています。

『いのち輝くいばらきの会』から田中重博さんが立候補します。田中氏は茨城大名誉教授で住民自治の専門家です。日本共産党茨城県員会は推薦をしています。みなさんのご支援・ご協力をお願いいたします。

日本共産党かすみがうら市議会議員 佐藤文雄

茨城知事選挙 8月21日告示/9月7日投票

いのち輝く
いばらきの会

田中しげひろ氏を擁立

「いのち輝く茨城の会」は、7月24日、県庁で記者会見し、茨城知事選挙に茨城大学名誉教授の田中重博氏を擁立してたたかうと発表しました。

2期8年の大井川県政は「もうかる茨城」を掲げ、大型開発と大企業優遇を進めてきましたが、地方自治体は、儲けるための営利団体ではなく「住民の福祉を増進するための公共団体」です。大井川県政は、地方自治の基本を踏み外しています。全国8位の財政力を県民本位に使うなら豊かな暮らし、農業など地域経済の発展は、十分可能です。

中小企業の賃上げに
支援を

救急搬送での
選定療養費徴収は撤廃

全国最低水準の医師数（46位）
看護師数（43位）を増やし、
赤字経営の病院に支援を

学校給食費の無償化に
件の補助を



まちの話題

稲吉南2丁目の市有地に病棟の移転計画をしていた神立病院が計画を断念する意向を市に示しました。

2023年12月市と基本協定を締結し、内科外科、整形外科、と病床160床の移転と市内初の産科の開設を目指していただだけに、とても残念なニュースで

今後の市有地についてはどうなるかわかりませんが、ぜひ市民の声も聴いて有効に活用していただきたい。



7/27 読売新聞・7/29 茨城新聞
神立病院移転断念を報ずる新聞記事

日本共産党かすみがうら市後援会総会
& 江尻かな県議の県政報告

とき* 9月13日（土）10:00~

ところ* 霞ヶ浦コミュニティーセンター
会議室3.4.5号（旧あじさい館）

9月18日（木）3番目に登壇

予定時間は午後3時～

佐藤議員の一般質問



令和7年かすみがうら市議会第3回定例会は9月2日から開催されます。一般質問は、9月17日（水）～19日（金）に行われます。佐藤ふみお議員は18日（木）の3番目に登壇します。予定時間は午後3時以降になります。是非傍聴に行きましょう。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1. 複合交流施設の見直しについて	・ 2022年の市長選挙で、宮嶋市長は「複合交流施設の見直し」を掲げ、市街地中央に「市民に愛される図書館・文化交流センターの整備を進める」と公約。しかし、市長が諮問した『中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会』における議論・方向が歪められていると感じるが、市長の見解を問う。
2. 子育てしやすいかすみがうら市について	① 小中義務教育学校の給食費の無償化及び教材費の保護者負担解消について、進捗状況を問う。 ② 修学旅行費用の無償化について、問う。
3. 入札制度の改革について	① 予定価格の事後公表と最低制限価格の撤廃について、問う。 ② 公契約条例の制定について、問う。 公契約条例とは、自治体発注の公共工事などに従事する労働者の賃金に下限額を設定し、自治体や受注業者側が下限額以上の賃金を保障する責任について明確にするもの。重層下請け構造の建設業界では、大手の元請け事業者などによる“中抜き・ピンはね”が横行。労働者の賃金が不当に抑えられているとして、条例制定を求める声が強まっています。
4. 水道事業の広域化について	・ 地下水という自己水源を放棄し、水道水をすべて県から受水するとなれば、水道料金が大幅にあがると想定される。それでも『1県1水道』事業に加入する考えかを問う。



後援会ニュース

号 外
25.8.24

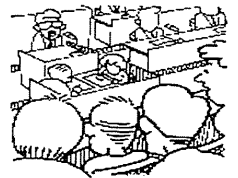
発行：日本共産党かすみがうら市後援会
TEL 029 (834) 7366 FAX 029 (834) 7367

資 料
部 内

9月18日（木）3番目に登壇

予定時間は午後3時～

佐藤議員の一般質問



令和7年かすみがうら市議会第3回定例会は9月2日から開催されます。一般質問は、9月17日（水）～19日（金）に行われます。佐藤ふみお議員は18日（木）の3番目に登壇します。予定時間は午後3時以降になります。是非傍聴に行きましょう。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1. 複合交流施設の見直しについて	・ 2022年の市長選挙で、宮嶋市長は「複合交流施設の見直し」を掲げ、市街地中央に「市民に愛される図書館・文化交流センターの整備を進める」と公約。しかし、市長が諮問した『中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会』における議論・方向が歪められていると感じるが、市長の見解を問う。
2. 子育てしやすいかすみがうら市について	① 小中義務教育学校の給食費の無償化及び教材費の保護者負担解消について、進捗状況を問う。 ② 修学旅行費用の無償化について、問う。
3. 入札制度の改革について	① 予定価格の事後公表と最低制限価格の撤廃について、問う。 ② 公契約条例の制定について、問う。 公契約条例とは、自治体発注の公共工事などに従事する労働者の賃金に下限額を設定し、自治体や受注業者側が下限額以上の賃金を保障する責任について明確にするもの。重層下請け構造の建設業界では、大手の元請け事業者などによる“中抜き・ピンはね”が横行。労働者の賃金が不当に抑えられているとして、条例制定を求める声が強まっています。
4. 水道事業の広域化について	・ 地下水という自己水源を放棄し、水道水をすべて県から受水するとなれば、水道料金が大幅にあがると想定される。それでも『1県1水道』事業に加入する考えかを問う。



後援会ニュース

号 外
25.8.24

発行：日本共産党かすみがうら市後援会
TEL 029 (834) 7366 FAX 029 (834) 7367

資 料
部 内